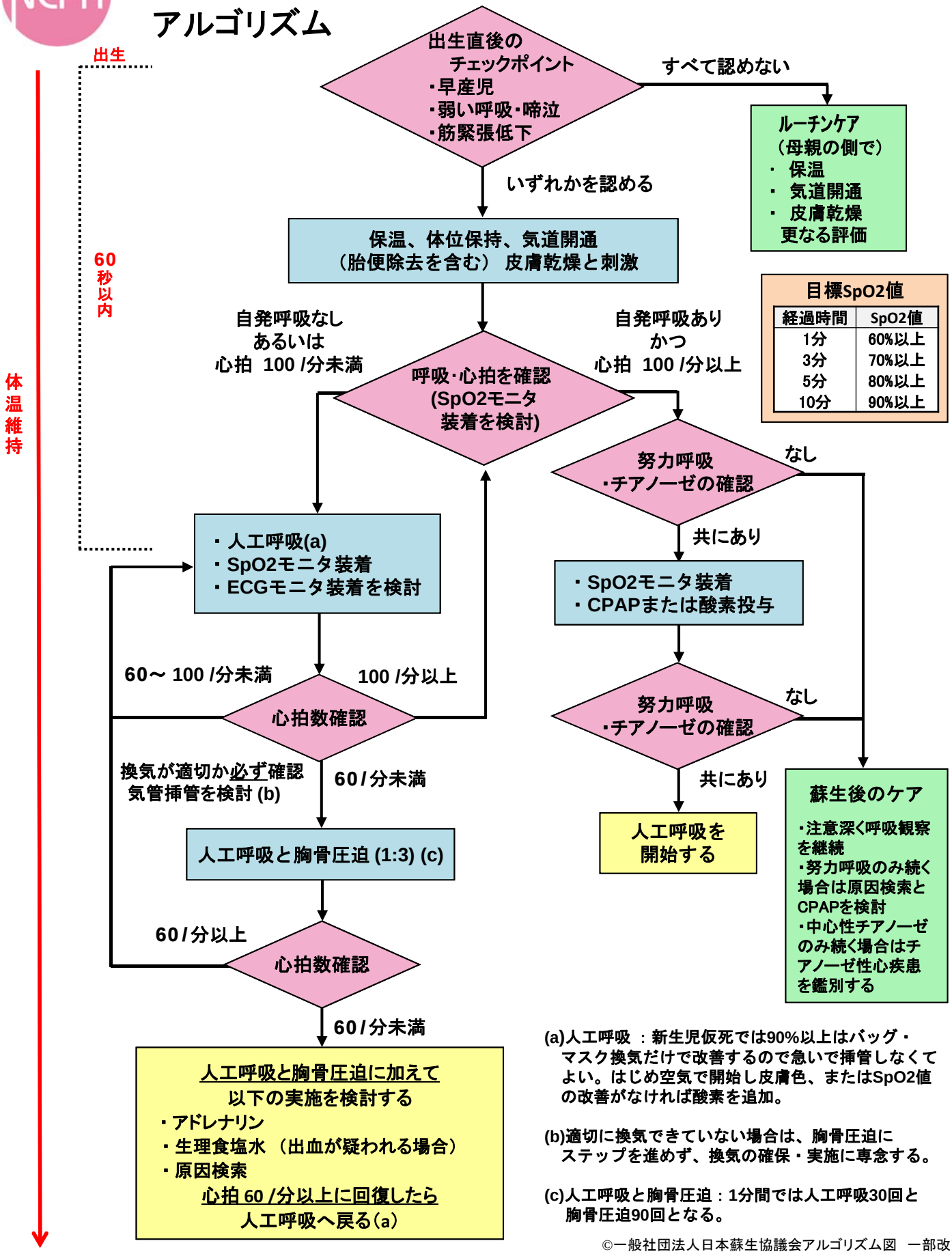
日本版救急蘇生ガイドライン 2015

2015年版 NCPR アルゴリズム



(a)人工呼吸 ：新生児仮死では90%以上はバッグ・マスク換気だけで改善するので急いで挿管しなくてよい。はじめ空気で開始し皮膚色、またはSpO2値の改善がなければ酸素を追加。

(b)適切に換気できていない場合は、胸骨圧迫にステップを進めず、換気の確保・実施に専念する。

(c)人工呼吸と胸骨圧迫：1分間では人工呼吸30回と胸骨圧迫90回となる。

©一般社団法人日本蘇生協議会アルゴリズム図 一部改変